

実証実験結果

検証項目

実証実験において、以下の検証を行った。

No	検証項目	概要	検証方法	
1	業者間連携検証	管轄外のエリアからの通報を管轄の消防への転送する仕組みを検証する。	共通電文仕様書(案)に基づき、事業者間のインターフェースを実装する 管轄外のエリアからの通報を管轄の消防へ転送し、転送先消防で通報受理できるか、通報者とチャットが行えるか確認する	
2	性能検証	災害時など緊急通報が集中した場合に耐えうるサーバ要件を検証する	大規模災害時にかかりうる負荷をかけた場合の、通報者側と消防本部側のチャット時のレスポンスタイムを計測する	
3	機能検証	通報が輻輳した場合に行うNet119の機能の有効性を検証する	操作時間の計測	通報シナリオを複数同時に実施し、保留通報を発生させた場合の、消防本部側のNet119管理機能の操作時間を計測する
			モニタリング	操作中の消防本部側の操作状況をモニタリングする 試験後にアンケートとインタビューを実施し、優れている点、問題点を抽出する
4	外国人向け検証	Net119の利用者の対象を、外国人に拡大した場合のNet119の実用性を検証する	操作時間の計測	通報開始～通報終了時(出動)までの所用時間と、各画面の滞在時間を計測する
			モニタリング	操作中の実験協力者の操作状況をモニタリングする。試験後にアンケートとインタビューを実施し、優れている点、問題点を抽出する

実施日程・場所

以下の日程・場所を実施済み。

No	検証項目	日程	実施場所		
1	業者間連携検証	2017年1月25日(水)	通報場所	東京都内・川崎市内	
			受理場所	TTC会議室	
2	性能検証	2017年1月27日(金)	豊洲センタービル(NTTデータ会議室)		
3	機能検証	2017年1月18日(水)	通報者(聴覚障がい者)	豊洲センタービル (NTTデータ会議室)	
			消防本部(埼玉西部消防局)		
		2017年1月20日(金)	通報者(聴覚障がい者)	豊洲センタービル (NTTデータ会議室)	
			消防本部(東京消防庁)		
4	外国人向け検証	2017年1月20日(金)	消防本部(東京消防庁)	豊洲センタービル (NTTデータ会議室)	
			通報者(外国人)	屋内	豊洲センタービル (NTTデータ会議室)
				屋外	豊洲近辺

実験結果【事業者間連携検証】(1/3)

(1) 目的

管轄外のエリアからの通報を管轄の消防への転送するための事業者間インターフェースを共通電文仕様書(案)として定義している。この共通電文仕様書(案)に基づき、インターフェースを実装し、事業者間転送が実現できるか検証する。

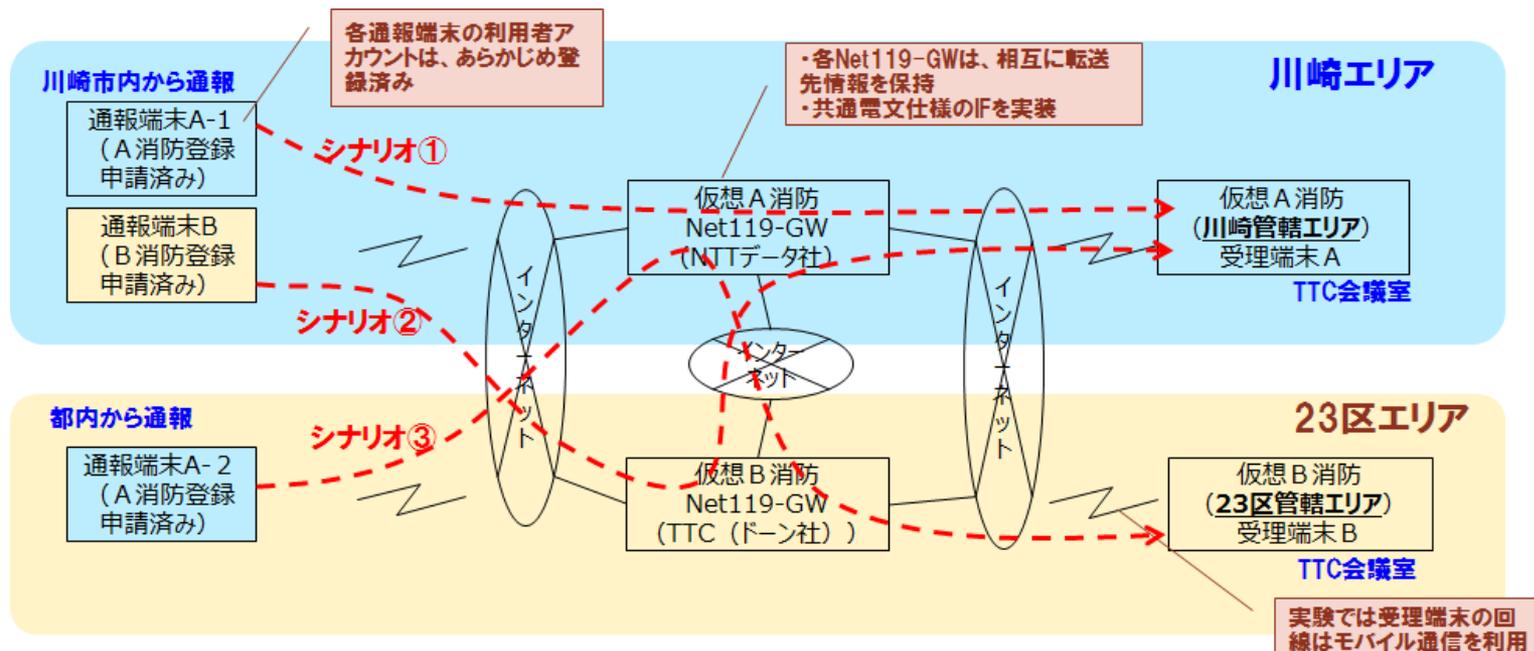
(2) 検証方法

下図の実験環境を構築し、3つのシナリオにて通報を実施、検証した。

シナリオ①: 通報端末を登録している消防の管轄エリア内(川崎エリア)からの通報

シナリオ②: 通報端末を登録している消防の管轄エリア外からの通報

シナリオ③: 通報端末を登録している消防の管轄エリア外からの通報(②の逆パターン)



実験結果【事業者間連携検証】(2/3)

(3) 検証結果

① 相互接続性確認

シナリオ	通報地点	通報端末	転送元	転送先	受理端末	結果
① (エリア内通報)	川崎市内	川崎エリア管轄消防の登録端末	—	—	川崎エリア管轄消防の端末	○: 接続確認済み
②	川崎市内	東京エリア管轄消防の登録端末	東京エリア消防Net119システム	川崎エリア消防Net119システム	川崎エリア管轄消防の端末	○: 接続確認済み
③	東京都内	川崎エリア管轄消防の登録端末	川崎エリア消防Net119システム	東京エリア消防Net119システム	東京エリア管轄消防の端末	○: 接続確認済み

② 機能性確認

No	確認項目	シナリオ① (エリア内通報)	シナリオ②	シナリオ③
1	取得した位置情報を元に通報場所を管轄する消防に通報を転送できるか	—	○: 通報場所を管轄する消防への転送を確認済み	○: 通報場所を管轄する消防への転送を確認済み
2	通報者と転送先消防の間で通報受理、チャット機能などが問題無く利用できるか	○: 機能の正常利用を確認済み	○: 機能の正常利用を確認済み	○: 機能の正常利用を確認済み
3	通報、チャットの処理時間に関して、事業者間転送による影響がないか (Caller、Callee間の処理時間: 複数回の電文送受信の平均)	—	○: 遅延等が無いことを確認済み(約0.2秒)	○: 遅延等が無いことを確認済み(約0.4秒)
4	事業者間転送時、通報ログが正しく記録できているか	○: IF電文のログ記録を確認済み	○: IF電文のログ記録を確認済み	○: IF電文のログ記録を確認済み

実験結果【事業者間連携検証】(3／3)

(4)まとめ

- ・複数の事業者が、共通電文仕様書(案)を元にインターフェースを実装し、システム間の相互接続ができることを確認した。
- ・通報者の位置情報を元に、管轄エリアの消防に通報が転送できることを確認した。
- ・通報者が住所地以外のエリアから通報した場合でも、登録してある住所地の消防が提供するNet119システムの通報者画面等を用いたまま、通報やチャットができることを確認した。



共通電文仕様書(案)を元に事業者間連携が実現できると考えられるため、Net119の技術条件に共通電文仕様書を盛り込むこととする。

また、共通電文仕様書(案)を策定している一般社団法人情報通信技術委員会(TTC)へ最終的な仕様のとりのまとめ、確定を依頼する。

実験結果【性能検証】(1 / 4)

(1) 目的

大規模災害時に通報が集中することが考えられるため、災害時を想定した負荷をかけた場合の性能検証を行い、実運用で使用するサーバを選択する上での指針とする。

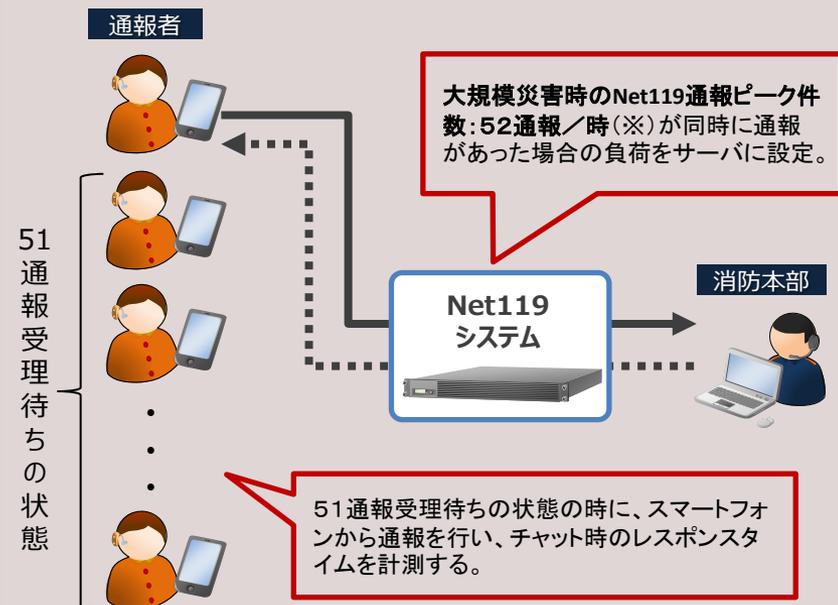
(2) 検証方法

以下の2検証を実施した。

① 瞬間的なピーク値試験

想定しうる最大負荷がかかった場合の、チャット時のレスポンスタイムを計測する。

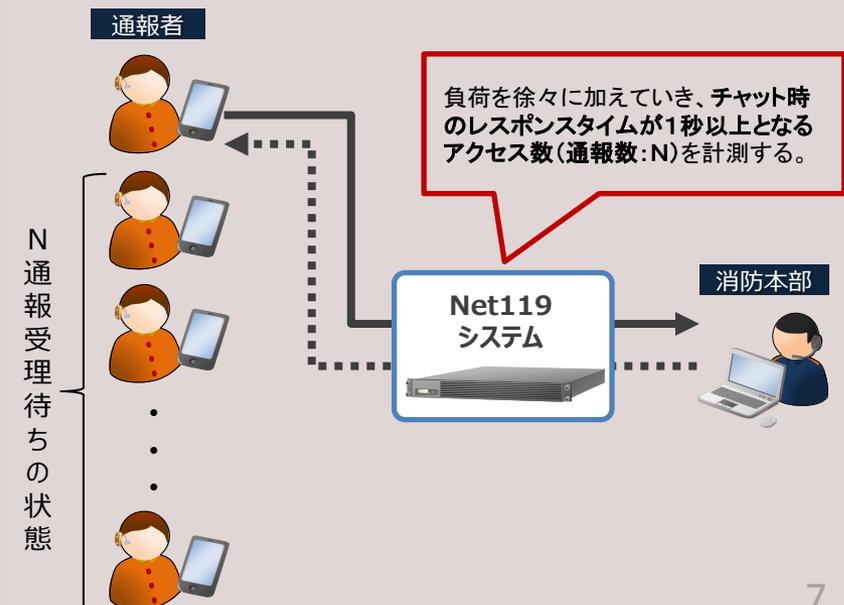
イメージ図



② 限界値試験

負荷を上げていった場合に、最大どれくらいの負荷に耐えられるかを計測する。

イメージ図



実験結果【性能検証】(2/4)

(3) 前提条件

性能検証で使用したサーバのスペックは以下のとおり。

スペック	Webサーバ	DBサーバ
CPU	Intel Core 2 CPU 6700@2.66GHz × 1	Intel Core 2 CPU 6700@2.66GHz × 1
メモリ	2048MB	2048MB
HDD	112GB	102GB

また、前提条件は以下のとおりとした。

- ・導入範囲: 全国の消防本部が1つのNet119システムを共有して利用している場合を想定
⇒考えられうる最大負荷を想定
- ・対象ユーザ: 全国の聴覚・言語機能障がい者
- ・運用状況: 運用年数5年経過を想定
⇒年間通報数の5倍のデータが検証サーバに蓄積されている状態とする
- ・運用期間中の大規模災害: なし

実験結果【性能検証】(3/4)

(4) 検証結果

① 瞬間的なピーク値試験(想定しうる最大負荷がかかった場合の、チャット時のレスポンスタイムを計測する)

1通報あたり5往復のチャットを行い、通報者端末、消防本部端末のメッセージ送信時間の平均を算出した。結果は以下のとおり。最大負荷時と無風(負荷なし)時で、レスポンスタイムに大きな差は無かった。

No	負荷条件	メッセージ送信	レスポンスタイム(秒)
1	無風(負荷なし)	通報者端末→消防本部端末	0.304
2		消防本部端末→通報者端末	0.394
3	最大負荷時 (同時に52通報)	通報者端末→消防本部端末	0.367
4		消防本部端末→通報者端末	0.768

② 限界値試験(負荷を上げていった場合に、最大どれくらいの負荷に耐え得るかを計測する)

消防本部端末の場合1秒間に240アクセスの時点で、1秒を超えるレスポンスタイムとなり、通報者端末の場合1秒間に300アクセスの時点で1秒を超える結果となった。

No	負荷条件	メッセージ送信	レスポンスタイム(秒)
1	1秒間に230アクセス	通報者端末→消防本部端末	0.785
2		消防本部端末→通報者端末	0.900
3	1秒間に240アクセス	通報者端末→消防本部端末	0.751
4		消防本部端末→通報者端末	1.450
5	1秒間に250アクセス	通報者端末→消防本部端末	0.897
6		消防本部端末→通報者端末	1.461
7	1秒間に300アクセス	通報者端末→消防本部端末	1.607
8		消防本部端末→通報者端末	1.373

実験結果【性能検証】(4 / 4)

(5)まとめ

今回検証用に設定したサーバスペックの場合、想定する最大負荷(通報)が同時刻に集中した場合でも、「チャット時のレスポンスタイム＝1秒以内」の要件を満たすことが可能である。また、チャットのレスポンスタイムが1秒を超える通報数は、240アクセスという結果となった。

本実験で設定した瞬間的なピーク値は、理論上、考えられる最大のものであり、実験結果の数値は、Net119導入時において、大規模災害時の通報集中に耐えるシステム構成、スペックを検討する際の参考値として報告書の参考資料に盛り込むこととしたい。

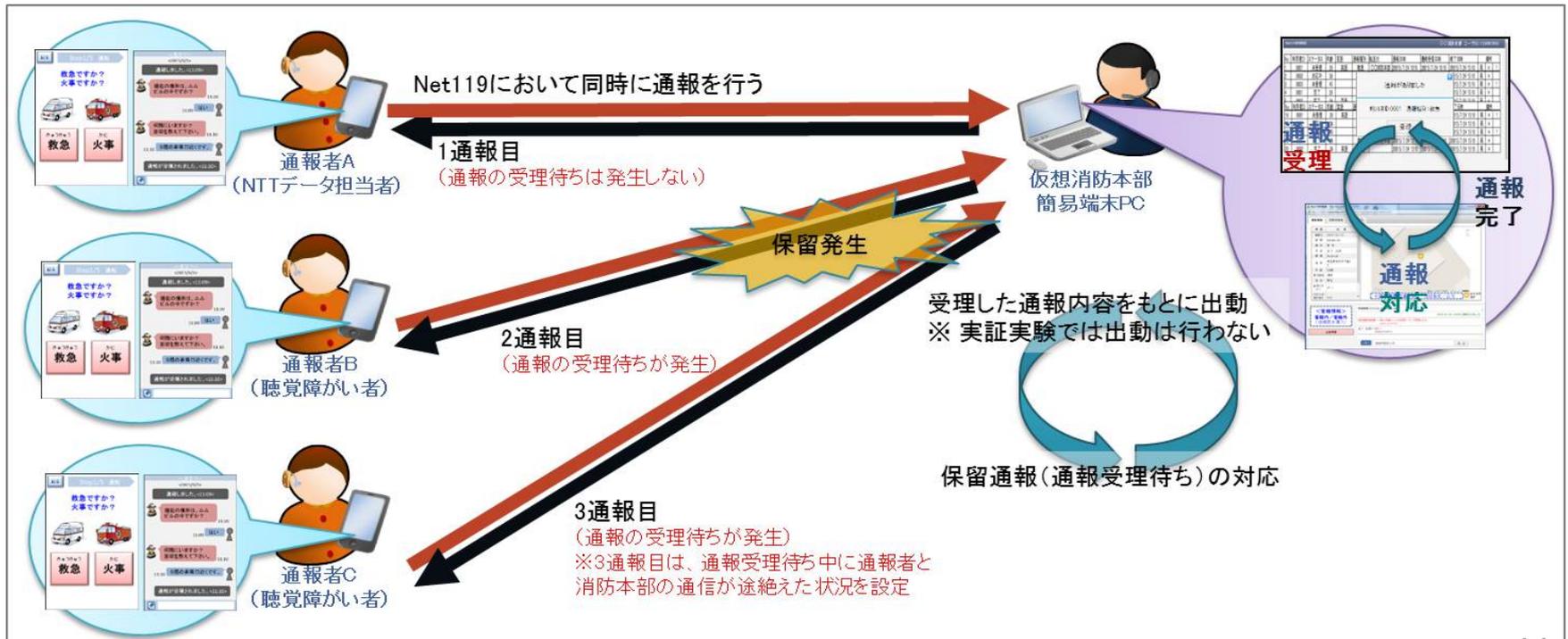
実験結果【機能検証】(1 / 4)

(1) 目的

複数同時に通報があった場合に、音声119番通報と同様にかかってきたものから順次対応可能となるような機能について、通報が輻輳した場合に、直感的な操作が可能であるか、検証する。

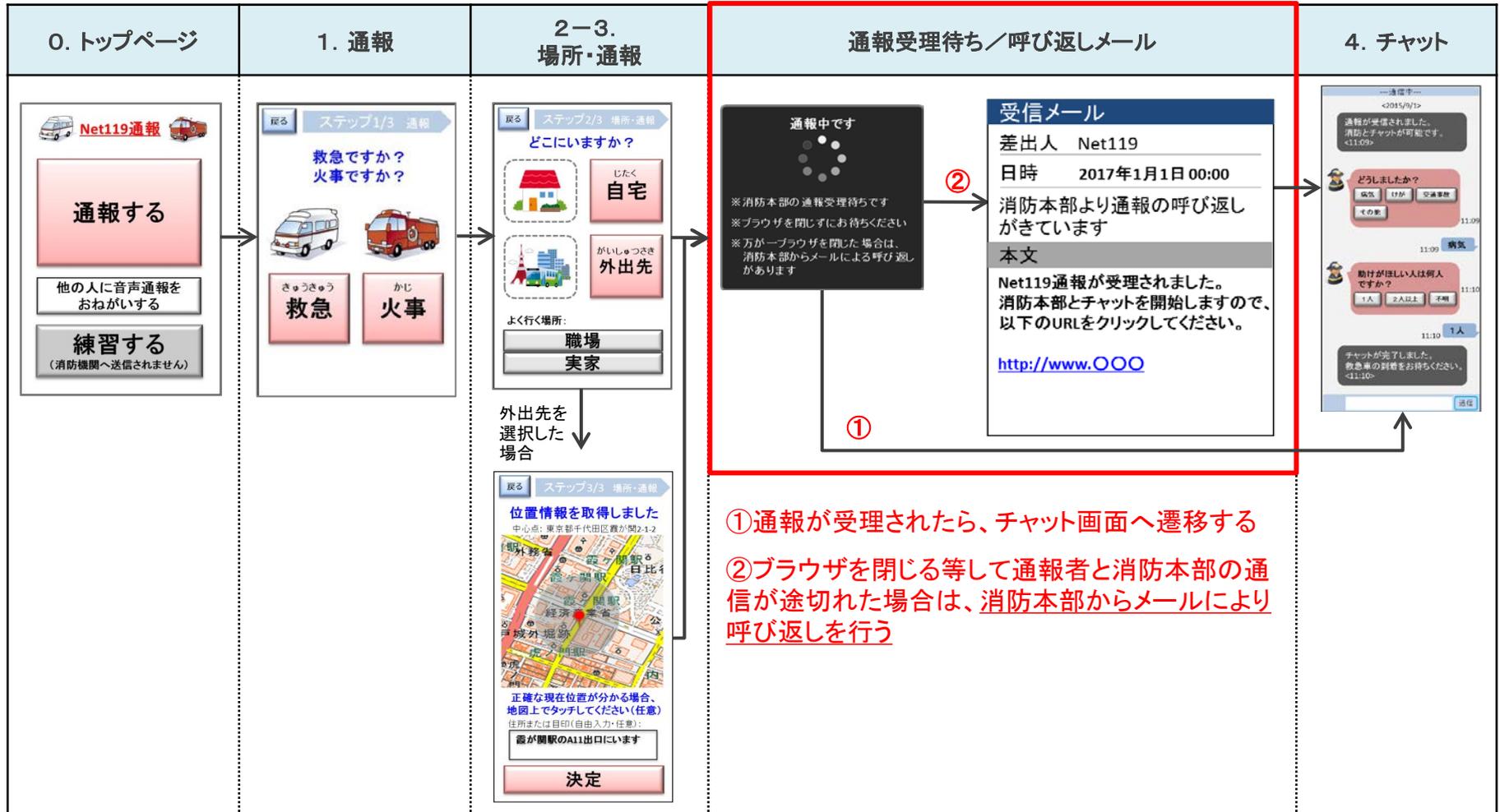
(2) 検証方法

実証実験では、通報が輻輳した場合を想定し、通報者から3通報同時に通報を行い、消防本部側では全ての通報に対し、聴取完了までを実施した。



実験結果【機能検証】(2/4)

実証実験前に想定した通報者の画面仕様は以下のとおり。通報集中時に対応できるシステム要件として、赤枠部分を追加した。(第1回検討会 資料2「検討項目」 P.24参照)



実験結果【機能検証】(3/4)

(3) 検証結果

① ヒアリング結果(通報者)

No.	件名	主なご意見	対応策(案)
1	通報受理待ち画面について	ブラウザを開いたままで、いつ受理されるかわからない。それなら、今回の様に、ブラウザを閉じて呼び返しを待つ方が良い。	—
2		通報受理待ち画面が表示された時、 <u>システムや端末の故障、電波状況が悪くなり不通になったと思った。</u>	通報受理待ち画面に以下のメッセージを表示する。 ・通報中であるためこのまま待つこと (消防本部の通報受理待ちであること)
3		通報受理待ち画面に表示されていた「メールによる呼び返し」の意味が分からなかったため、 <u>ブラウザを閉じた場合に何が起こるのか、具体的に記載してほしい。</u>	・ブラウザを閉じた場合、消防本部からメールが届くため、メールを確認すること
4		「周りにだれもいない」状況なので、 <u>いつ消防本部から連絡がくるのか不安だった。待ち時間やカウント(信号待ちのような)があればいい</u> と思った。	消防本部側で通報を受理するタイミングは予測不可能なため、対応は難しい。
5	メールによる呼び返しについて	メールを受信しチャット画面を開くまでの操作で、迷うところはなかった。	—
6		緊急事態なので、 <u>メール受信時は、強制的にメールやチャット画面が表示されると良い。</u>	端末側の機能となるため、対応は難しい。

実験結果【機能検証】(4/4)

② ヒアリング結果(消防本部)

No.	件名	主なご意見	対応策(案)
1	通報の通知方法について	<u>通報対応中に、滞留している通報件数や通報種別を表示した方が良い。</u>	<u>チャット画面に、未受理の通報件数・通報種別を表示する。</u>
2		通報されてきたものから受理する仕様になっているが、火事の場合等通報者の緊急度に応じて、 <u>受理する通報を選択できると良い。</u> (例えば、火事の通報があった場合等に、優先して対応する判断ができる)	未受理の通報から <u>受理する通報を選択可能な仕様とする。</u>
3		<u>通報着信時のアラーム音の音量は調整できた方が良い。また、鳴り続けるのではなくOFFにできると良い。</u>	<u>通報着信時には音を鳴らし、音量やON/OFF切替を調整可能な仕様とする。</u>
4		通報管理画面で、 <u>受理していない通報がどれなのか、一目見て分かるように表示した方が良い。</u>	通報管理画面で各通報のステータス(「未受理」「対応中」「完了」)を視覚的に分かるような表示にする。(色分けやタブ切替等)
5	「呼び返し」機能について	通報受理時に通報者がオフラインになっている時にアラート表示しているが、 <u>常に通報者がオンラインかオフラインが表示した方が良い。</u>	<u>通報者のオンライン/オフライン状況をチャット画面に表示する。</u>
6		聴取完了後現場に到着するまでに、再度通報者と連絡を取るケースも想定される。その場合、2通報目を受けながら、1通報目の通報者とやりとりすることになるため、1通報目を聴取完了ではなく <u>保留にする機能も必要。</u>	複数通報同時に対応可能となるような仕様とする。

③ まとめ

実証実験結果を踏まえ、通報者・消防本部の画面仕様(案)をP. 23~27のとおり整理した。

実験結果【外国人向け検証】(1 / 7)

(1) 目的

訪日外国人をNet119利用対象者とした場合に、Net119通報が可能であるか、また、消防本部側で外国人からの通報に対して、聴取から出動までを円滑に行うことができるか、それぞれ検証する。

※昨年度定めた通報者側インターフェースの言語の英語化を行い、受理する消防とのチャットのやり取りは、英語定型文のみで実施する。

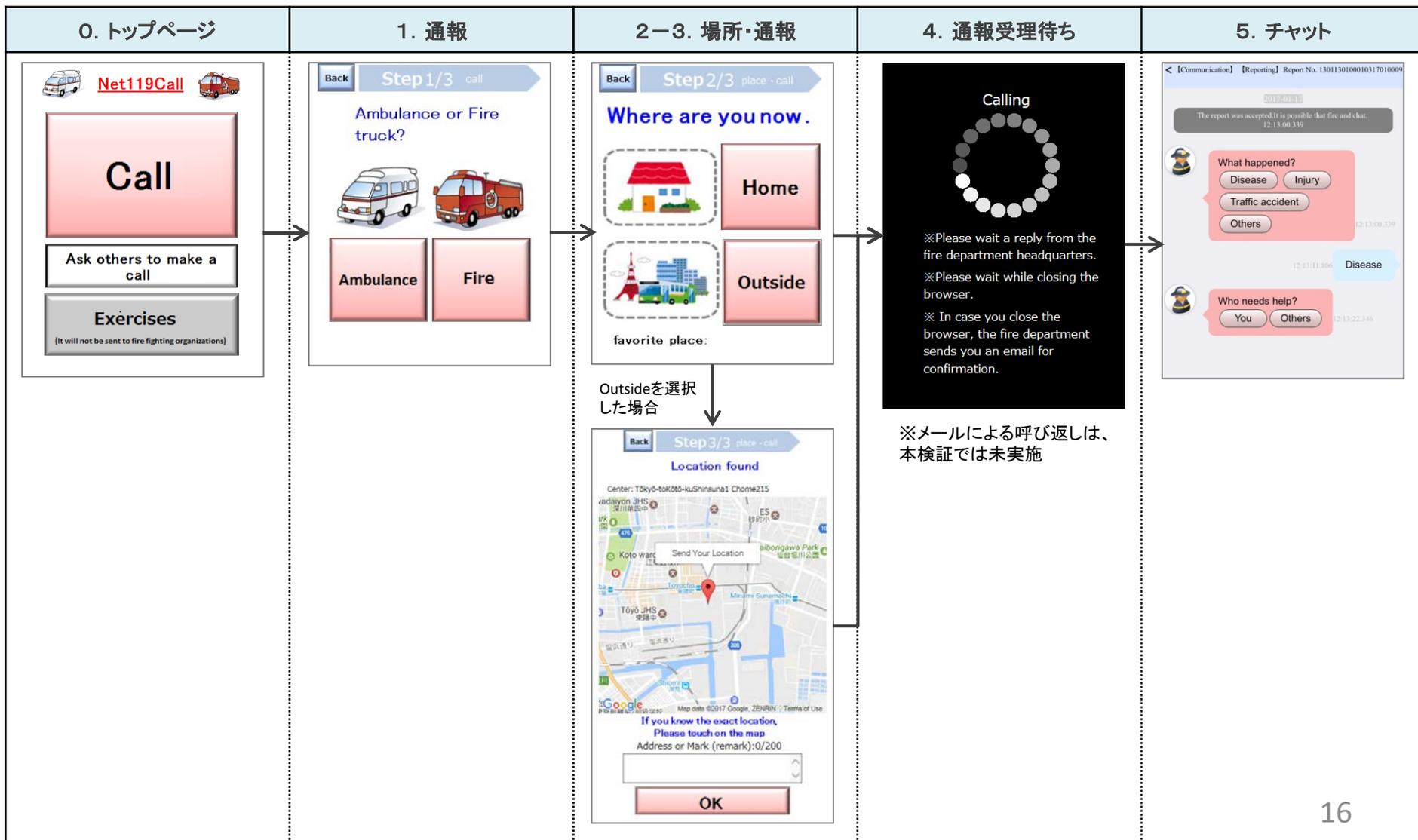
(2) 検証方法

実証実験では、指定する通報シナリオに基づき、Net119(英語版)から模擬通報を行い、消防本部側で通報内容の確認を行い、出動に必要な情報の聴取を実施した。



実験結果【外国人向け検証】(2/7)

実証実験で使したNet119(英語版)の通報者の画面仕様は以下のとおり。



実験結果【外国人対応検証】(3/7)

(3) 検証結果

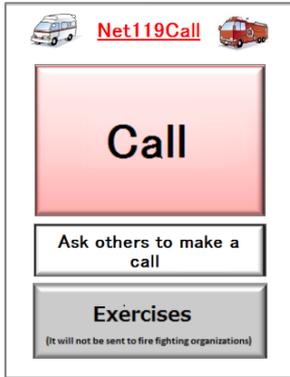
① 通報時間の計測

通報開始～受理されるまでの時間(※)を計測した結果、平均通報時間は52秒となり、昨年度実施した聴覚障がい者を対象とした実証実験の平均通報時間38秒に比べ、14秒遅い結果となった。今回の通報はすべて「外出先」からの通報であったため、位置情報設定に要する時間が相対的に長くなったことが要因として考えられる。

※ 通報トップページ画面で「通報する」ボタン押す～(通報場所が自宅/よく行く場所の場合)場所情報選択画面で「自宅」、「よく行く場所」を押す
～(通報場所が外出先の場合)位置情報設定画面で「通報する」ボタンを押す

② ヒアリング結果(通報者)

■ 通報トップページ

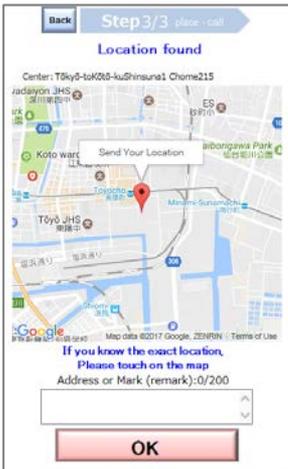
画面	主なご意見	対応策(案)
	<p>・「Call」と書いてあったため、電話発信されると思った。電話の場合、日本語で話さなければならぬのかなと思った。</p> <p>⇒どのような表現が適切か聞いたところ、複数の被験者から『「Emergency」でも理解できる』、『「Contact us」「Contact」等であれば、電話だとは思わなかった』との回答があった。</p>	<p>・音声通話ではなく、Net119通報(パケット通信による音声によらない緊急通報)であることを理解可能な表現とする。</p>

実験結果【外国人対応検証】(4/7)

■場所情報選択画面

画面	主なご意見	対応策(案)
	<p>・「Home」は、個人宅の中にいる場合という認識であるため、例えば友人宅等の自宅以外の個人宅にいる場合に、説明が無いと誤って「Home」を選択してしまう可能性がある。</p>	<p>・「自宅＝事前登録した自宅住所」と「外出先＝事前登録した自宅以外」が明確に理解できる表記にする。</p>

■位置情報設定画面(1/2)

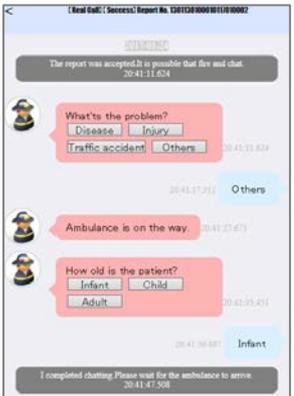
画面	主なご意見	対応策(案)
	<p>被験者の多くが、「この画面で何をすればよいか分からなかった」との回答だった。</p> <p><理由や主なご意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が今いる場所が分からない。 ・地図ではなくテキストで場所の情報を入力できると良かった。 ・表示順は、上から『フリー入力欄(駅名や周りの目印を記入)』『地図上から正確な現在地を選択』『今いる場所が分からない場合は「分からない」を選択する』がいいと思う。 	<p>・端末のGPS情報から位置情報が取得できていること、また“任意”で、周囲の目印をテキスト入力できることや、地図上から正しい位置情報を設定できることを明記する。</p>

実験結果【外国人対応検証】(5/7)

■位置情報設定画面(2/2)

画面	主なご意見	対応策(案)
	<p>また、地図上の赤い矢印が現在地を指し示していることは認識していたが、次に何をすればよいか分からず、地図を操作した結果、複数の被験者が意図せず現在地とは異なる場所を誤ってプロットしていた。</p> <p><理由や主なご意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図を操作すると、入力欄に住所が表示されると思った。 ・地図の操作は位置を設定するのではなく、自分の居る場所の名称やビル名を確認するために行った。結果確認できなかったため、あきらめてそのままOKボタンを押した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図設定画面の構成を以下の流れが分かるように変更する。 <ol style="list-style-type: none"> ①端末のGPSから位置情報を自動取得したこと ②周囲に目印等ある場合は、任意でテキスト入力可能なこと ③正確な位置情報が分かる場合は、任意で地図上に設定可能なこと

■チャット画面

画面	主なご意見	対応策(案)
	<p>定型文(ボタン選択)に限定したやりとりについて、ほとんどの被験者が「自由入力機能もほしい」と回答した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回答の選択を間違えたときや、「Others」を選択したとき、それが何か伝えたい。 ・該当する回答選択肢が無かったため。 ・自分の緊急度を伝えられる術があればと思った。 <p>また、複数の被験者より以下のご意見を頂いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(救急車の)待ち時間が分かると思う。(※) 	<p>要検討</p>

(※) 国によっては、緊急車両が到着するまでに時間を要することが多いため、その現状を踏まえてのご意見だった。

実験結果【外国人対応検証】(6/7)

②ヒアリング結果(消防本部)

No.	主なご意見
1	外国人と定型文のみのやりとりでは聞きたい内容が即座に聞けない。まず最初に通報場所を特定したいが、該当する定型文が無く、対応が難しいと感じた。仮に、消防本部の運用にあわせて定型文を増やしたとしても、探すのに時間がかかる。
2	外国人とのチャットを定型文ではなく、自由入力形式にした場合、本来の意図と異なる意味に翻訳される可能性がある。
3	仮に定型文のみで外国人とやりとりを行うのであれば、地図上から住所情報をテキストでチャットに反映し、自動的に英語変換されるとよい。(ただし、英語の場合と日本語の場合で、表記の仕方が異なる可能性がある)
4	通報者が外国人ならば、まず日本語が話せるか確認したい。
5	現状、音声119番通報の運用で他言語に対応可能な指令員・救急隊員で外国人の対応を行っている。また、今後は通報者・消防本部・通訳会社の3者間通話の導入も検討している。

消防本部は通報場所を、①GPS／ネットワーク測位情報、②通報者が設定した位置情報、③チャットで聴取した位置情報から特定する。今回の実証実験では通報者(外国人)の多くが、位置情報設定画面で現在地を誤って設定したことにより①と②の位置が大きく離れており、また、チャットにおいても定型文のみでやりとりを行ったため通報場所の特定が難しく、特定した通報場所と実際の通報場所が大きくかけ離れていた。

No	通報場所	実際の通報場所	① GPS／ネットワーク測位情報		② 通報者が設定した位置情報	③ チャットから聴取した位置情報
			精度(m)	住所	住所	場所
1	屋外	豊洲センタービル前広場 (豊洲センタービルあいプラザ) /江東区豊洲3-3-3	1061	東京都江東区豊洲五丁目	東京都江東区豊洲五丁目 (豊洲シエルタワー下)	豊洲シエルタワー
2000			東京都江東区豊洲五丁目	東京都江東区有明三丁目 (そなエリア東京 多目的広場)	※場所に関する質問なし (②よりそなエリア東京 多目的広場と特定し、階数(1階)を確認)	
3		有楽町線 豊洲駅内 /江東区豊洲4-1-1	2000	東京都江東区豊洲五丁目	東京都中央区晴海三丁目 (晴海グランドホテル)	※場所に関する質問なし (②より晴海グランドホテルと特定し、階数(1階)を確認)
4	屋内	豊洲センタービル内 10F /江東区豊洲3-3-3	65	東京都江東区豊洲四丁目	東京都江東区有明一丁目 (有明テニスの森)	豊洲センタービル
5			65	東京都江東区豊洲三丁目	設定なし	豊洲センタービルあいプラザ

実験結果【外国人対応検証】(7/7)

③まとめ

通報者側については、位置情報の設定や英語の表記の仕方についていくつか課題はあるものの、概ね問題無く通報することができることがわかった。位置情報設定画面の仕様については、日本人・外国人問わず、周囲に目印となるものがある場合は、任意で駅名や目印をテキスト入力し、自分が今いる場所が分かる場合は、地図上で設定した上で、消防本部側へ送信することが望ましい。

一方、消防本部側については、チャット時に定型文のみでは聞きたい内容を即座に聞くことができず、通報場所の特定が難しいことがわかった。また、仮にチャットを自由入力形式にした場合においても、翻訳機能の性能によっては本来の意図と異なる意味に翻訳される可能性があるため、人命に関わる緊急通報システムとしてリスクが高いように思われる。

さらに、第2回検討会の議題(※)にもあったとおり、外国人を対象とした場合の運用上の課題に対応できておらず、また、現在既に他言語に対応可能な指令員・救急隊員の整備や、通報者・消防本部・通訳会社の3者間通話の検討も進められているため、当面の間はNet119の外国人対応は見送ることとする。

(※) 第2回検討会 資料2「各検討項目について」P. 36参照

実験結果【その他】

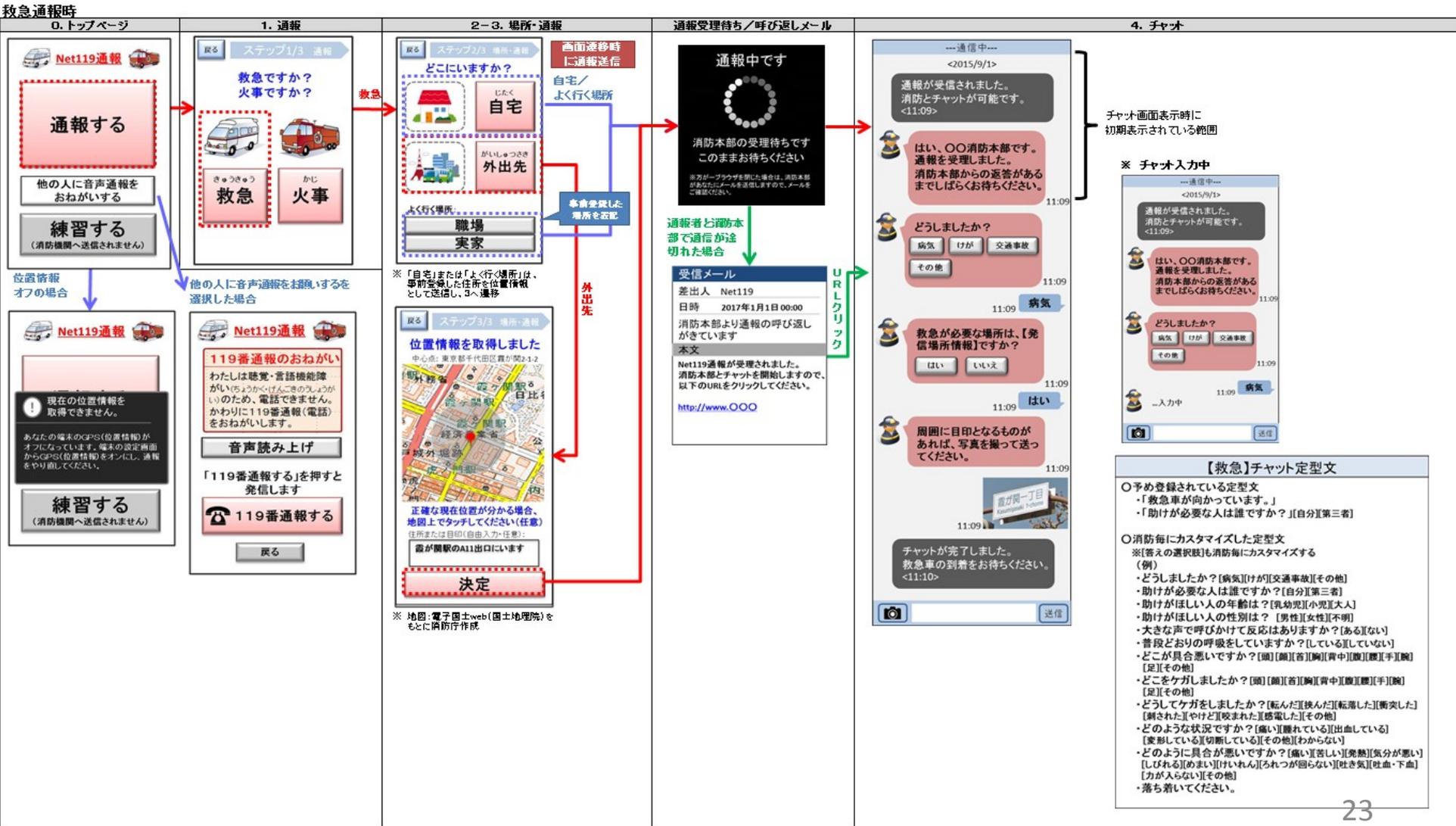
Net119システムの機能仕様全般について、いただいたご意見は以下のとおり。

No.	項目	主なご意見	対応策(案)
1	消防本部	位置情報の表示 まず最初に通報場所を確認するため、「 <u>通報者によって設定された位置情報</u> 」、「 <u>GPS等によって測定された位置情報</u> 」の住所をテキスト表示させ、チャットに自動的に引用できるとよい。	第3回検討会 資料2「事前登録情報の取り扱い等」P. 19に対応策記載済み。
2		位置情報は「 <u>通報直後の位置情報</u> 」と「 <u>現在の位置情報</u> 」を切り替えて表示できるようにしてほしい。	<u>位置情報の表示切替可能な仕様とする。</u>
3		位置情報は <u>最新の位置情報のみ</u> 分かればよい。	
4		画面仕様 各ボタン(「聴取完了」「呼び返し」「印刷」)の <u>配置や色、大きさを変えた方がよい。</u>	各ボタンの色や大きさ、配置を変更する。
5		誤操作を防ぐため、 <u>各ボタン押した後に確認画面を表示したほうがよい。</u>	ボタン押下後に <u>確認アラートを表示</u> させる。
6		<u>アラート画面や文字が小さい。</u>	文字サイズを変更する。(昨年度報告書記載済み)
7	通報者	消防側はまず最初に通報場所を確認するため、 <u>通報者側のチャット画面に予め表示しておく質問文(※1)を変えた方がよい。</u>	通報受理後、 <u>通報者側のチャット画面に初期表示させるメッセージを変更する。</u> (例)「はい、〇〇消防本部です。通報を受理しました。消防本部からの返答があるまでお待ちください。」
8		通報者に地図をプロットしてもらう場合に、 <u>正確な場所を分かってプロットしているのかどうか</u> がわかった方がよい。	通報者には、 <u>自分が今いる場所が分かる場合のみ、地図上で設定を行ってもらう。</u>
9		場所や状況の説明が難しい場合、現場や自分の状態を撮影して送信できるといい。	<u>写真送信機能を追加する。</u>

(※1) 昨年度実証実験より、チャット画面遷移後、消防本部からの返答を待つ時間を無くすため、予め以下の質問を表示させる仕様となった。
救急:「どうしましたか?」 / 火事:「何が燃えていますか?」

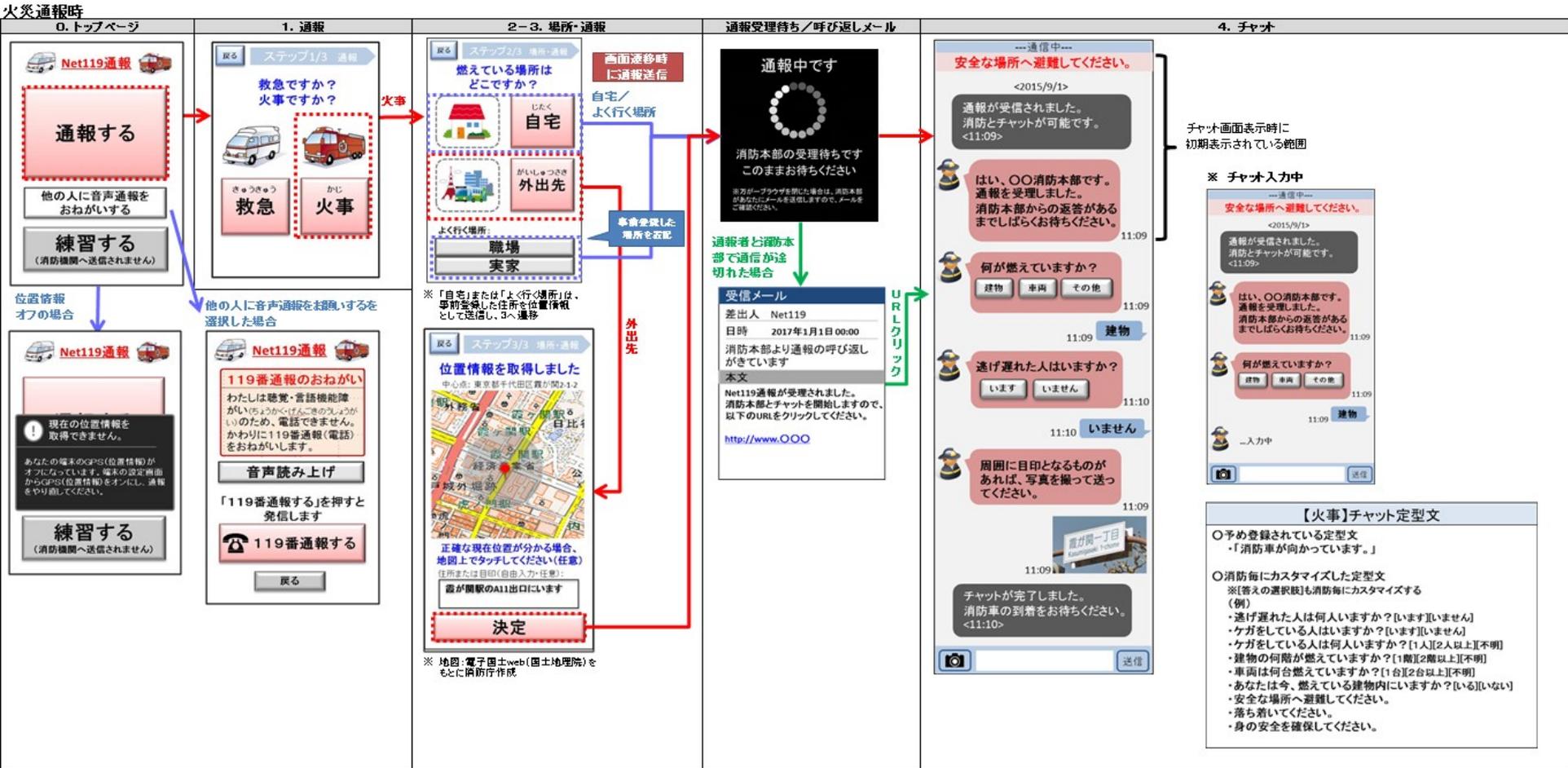
通報者の画面仕様(救急)(案)

実証実験結果を踏まえた、通報者の画面仕様[救急](案)は以下のとおり。



通報者の画面仕様(火事)(案)

実証実験結果を踏まえた、通報者の画面仕様[火事](案)は以下のとおり。



消防本部側画面仕様(案)(1/5)

実証実験結果を踏まえた、消防本部の画面仕様(案)は以下のとおり。

通報管理画面(例)

文字の大きさを変更
(例)小/標準/大

Net119管理画面

未受理の通報件数を通報種別ごとに表示

未受理	救急	火事
	2	0

文字の大きさ 小 標準 大

音量調整 ログアウト

No	利用者ID	ステータス	通報種別	通報場所	転送元	通報日時	終了日時	操作
1	1301000101	未受理	救急	〇〇区△△町1-2-3		2017/1/26 14:37		再 ×
2	1301000102	未受理	救急	××区△△町1-2-3		2017/1/26 14:37		再 ×
3	1301000105	対応中	火事	△△区××町1-2-3		2017/1/26 14:37		再 ×
4	1301000106	対応中	救急	××区〇〇町1-2-3		2017/1/26 14:37		再 ×
5	1301000107	完了	救急	〇〇区××町1-2-3	△△消防本部	2017/1/26 12:00	2017/1/26 12:05	再 ×

通報着信時にアラート音を鳴らす
(ON/OFF切替、音量調整可)

(例) ミュート : 音量調整 :

消防本部側画面仕様(案)(2/5)

通報受理画面(例)

Net119管理画面

未受理

救急
2

火事
0

文字の大きさ

小

標準

大



ログアウト

No	利用者ID	ステータス	通報	終了日時	操作
1	1301000101	未受理	救急		再 ×
2	1301000102	未受理	救急		再 ×
3	1301000105	対応中	火事		再 ×
4	1301000106	対応中	救急		再 ×
5	1301000107	完了	救急	2017/1/26 12:05	再 ×

通報受理画面

通報がありました！

No	利用者ID	通報種別	通報場所	通報日時	受理
1	1301000101	救急	〇〇区△△町 1-2-3	2017/1/26 14:37	受理
2	1301000102	救急	××区△△町 1-2-3	2017/1/26 14:38	受理

次に受理する通報を選択

消防本部側画面仕様(案)(3/5)

チャット画面(例)

Net119管理画面

文字の大きさ 小 標準 大

0 ログアウト

通報者指定の位置情報 黄の円：現在の位置 青の円：通報直後の位置情報 精度：0m 精度：0m

東京都江東区豊洲△-△-△ 東京都江東区豊洲x-x

通報情報	利用者情報	緊急連絡先
通報日	2017-01-26	
通報時間	14:33:32	
種別	救急	
氏名/フリガナ	救急 花子 / キウキウ ハナコ	
自宅住所	江東区豊洲x-x-x-xxx ○○マンション1025号	
年齢	21	
性別	女	
場所区分	外出先	
言語	日本語	

視覚的に判断可能とする (例) 救急 / 火事

地図上に表示させる位置情報を選択 (例) 通報者指定の位置情報 / 通報直後の位置情報 / 現在の位置

<管轄情報> 管轄内

受信時間: YYYY-MM-DD hh:mm:ss

印刷

聴取完了

呼び返し

転送

送信時間: YYYY-MM-DD hh:mm:ss

〇〇消防本部 > はい、〇〇消防本部です。通報を受理しました。消防本部からの返信があるまでしばらくお待ちください。
yyyy/mm/dd hh:mm

〇〇消防本部 > 救急が必要な住所は、江東区豊洲△-△-△ですか?
yyyy/mm/dd hh:mm

通報者 > そうです。
yyyy/mm/dd hh:mm

〇〇消防本部 > 救急が必要な住所は、江東区豊洲△-△-△ですか?
yyyy/mm/dd hh:mm

通報者 > 
yyyy/mm/dd hh:mm

通報者のオンライン状況を表示 (例)

● オンライン ● オフライン

● オンライン

発信

※複数通報同時に対応可能となるよう、チャット画面を複数画面表示し、複数通報対応できることが望ましい。

消防本部側画面仕様(案)(4/5)

チャット画面(例) ※転送時

Net119管理画面

未受理 救急 1 火事 0

文字の大きさ 小 標準 大

通報情報 利用者情報 緊急連絡先

通報日 2017-01-26

通報時間 14:33:32

種別 救急

氏名/フリガナ 救急 花子 / キウキウ ハナコ

自宅住所 江東区豊洲x-x-x-xxx 〇〇〇マンション 1025号

通報者指定の位置情報 黄の円: 現在の位置 青の円: 通報直後の位置情報

東京都江東区豊洲△-△-△ 東京都江東区豊洲x-x

精度: 〇m 精度: 〇m

地図 航空写真

CAFE HAUS

江東豊洲郵便局

スーパービバホーム 豊洲店

生活彩家・豊洲センタービル

アークランド 豊洲ANNEX

印刷

転送先選択画面

転送先の消防本部を選択してください。

〇〇〇〇消防本部

自由記入欄 (〇文字以内)

転送

<管轄情報> 管轄内

聴取完了

呼び返し

転送

受信時間: YYYY-MM-DD

〇〇消防本部 > はい、〇〇YY

〇〇消防本部 > 救急が必要YY

通報者 > そうで

yyyy/mm/dd hh:mm

発信

オンライン

転送先消防本部を選択後、転送事由等、転送先消防本部への申し送り事項を記入



